

みんなで楽しむために 美術館からのお願い

美術館で作品をお楽しみいただく際には、美術館とともに作品を大切に守り、後世に伝えるということにもご理解、ご協力ください。

◆展示室に入る前に



1. カサや大きな荷物は、もちこまない

作品にぶつかる危険がありますので、大きな荷物はロッカーにお入れください（ロッカーに入らない荷物は、総合案内でご相談ください）。カサは、ぬれていなくても傘立てか、ご自身のバッグの中に入れてください。



2. たべない・のまない

食べ物や飲み物は、作品を汚したり、害虫がつく危険があります。バッグやロッカーの中に入れてください。



3. 動物、植物はもちこまない

作品を害虫やカビから守るためです。ただし盲導犬などのほじょ犬は、展示室と一緒に入ることができます。



4. 小さなお子様をお連れのお客様へ

小さなお子さんとは手をつないで鑑賞ください。いろいろお話をしながら一緒にお楽しみください。

◆展示室の中で



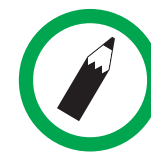
1. 作品にはさわらない

作品が汚れたり、こわれたりしないよう、作品や展示ケースにはさわらないでください。また、鉛筆などで指さしたり、壁にもたれたりすることもやめましょう。



2. 柵や線をこえない

作品を汚したり、こわしたりしないよう、作品の前にある柵や床の線をこえないでください。

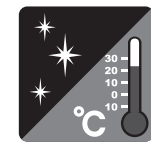


3. メモや筆談には、鉛筆を。

ボールペン、万年筆、ペン、シャープペンシルなどは、インクや芯が飛んで作品を汚す危険があります。

筆談ボードもインクを使わないタイプのものをお使いください。

鉛筆が必要な方はお貸出しますので、お近くのスタッフにお申しつけください。



4. 展示室はなぜ暗い？寒い？

光や温度、湿度が作品を劣化させるため、それぞれの作品に適切な条件で一定に保っています。



5. 携帯電話について

ほかのお客様の迷惑になりますので、マナーモードに設定してください。通話やメールはご遠慮ください。



6. 写真撮影について

企画展展示室では撮影をお断りしています。

横浜美術館コレクション展会場とグランドギャラリーでは、私的使用目的に限り撮影可能です。

ただし作品や著作権の保護のため、フラッシュや三脚の使用はご遠慮ください。

携帯電話での撮影は、シャッター音が他のお客さまの迷惑になることがあり、制限をさせていただく場合があります。



7. 地震や火事などの緊急時には

お客さまの安全のため、必ずスタッフの指示に従って行動してください。